

写真アルバム 大阪中之島がきれいなウォーターフロントに

近代建築の重要文化財 中央公会堂と中之島図書館 2010. 3. 2. By Mutsu Nakanishi



大阪の中心地 中ノ島公園 中ノ島東部 中央公会堂界限 2010. 3. 2.

大阪に久しぶりに出て、ちょっと時間がありましたので、京阪電車が開通して大きく変化したと聞く中ノ島を歩きました。

昼休みに川沿いのビルから運動をかねて歩いた頃とは様変わり。本当にきれいなウォーターフロントに。

また、中ノ島の中央 大阪市役所の東側に並んで建つ重要文化財の近代建築 中央公会堂と図書館。

きれいに整備されて現役なのうれしい。天神祭りだけが 中ノ島ではない。

林立するビルと車騒音に、なんとなくせかせかと歩く大阪の市街地。でも、ここは空が見渡たせ、中央公会堂の食堂に入るのもよし。土佐堀川に行く引き舟や水上バスを眺めるのもよし。

ゆったりとした気分になる散歩道です。



難波橋の向こうに北浜のビル街



中ノ島公園から西の淀屋橋



中央公会堂



中ノ島図書館





重要文化財 中之島図書館の本館 現在も現役の図書館である 2010. 3. 2.



中之島図書館 中央ホールとドーム

明治 37 年に第 15 代住友吉左衛門氏の寄付によってつくられた。設計は住友家の建築技師長であった野口孫市氏。外観はルネッサンス様式を、内部空間はバロック様式を基本としながら、優れたデザイン力による格調の高い建築である。コリント式円柱に支えられる正面はギリシア神殿を、ドーム状の中央ホールは教会を思わせる造りとなっている。大正 11 年に住友家の寄付により日高胖氏の設計で左右の両翼が増築され、ほぼ現在の建物が完成した。昭和 49 年には本館及び左右両翼の 2 棟が国の重要文化財に指定されている。





重要文化財 中央公会堂 2010. 3. 2.

中央公会堂の建設は大阪北浜の株式仲買商であった岩本栄之助氏からの寄付を建設資金として、明治 45 年 (1912) の建築設計競技により最優秀案となった岡田信一郎氏の原案に辰野金吾氏と片岡安氏が手を加えて設計され、大正 2 年 (1913) 建設工事に着手。1918 年 11 月にオープン。建物は鉄骨煉瓦造地上 3 階・地下 1 階建て。意匠はネオ・ルネッサンス様式を基調としつつ、バロッキ的な壮大さを持ち、細部にはセセッションを取り入れており、アーチ状の屋根と、松岡壽によって天地開闢が描かれた特別室の天井画・壁画が特徴となっている。

日本有数の公会堂建築であり、外観、内装ともに意匠の完成度が高く、日本の近代建築史上重要なものとして 2002 年 (平成 14 年)、国の重要文化財に指定されている。老朽化が進んだため、1999 年 (平成 11 年) 3 月から 2002 年 (平成 14 年) 9 月末まで保存・再生工事が行われ同年 11 月にリニューアルオープン。文化・芸術・交流の場として集会室はすべて使用開放されている。また、耐震補強、免震レトロフィットやバリアフリー化がなされ、ライトアップもされるようになった。

フリーでかけたので特別室や大集会室の内部を見学できなかった。





中之島公園から土佐堀川越しに 難波橋 その向こうに証券取引所など北浜のビル街 2010. 3. 2.



難波橋のライオン像 2010. 3. 2.